

# 釧路南ロータリークラブ会報

第11回 例会報告 2016.9.16 通算1647回

・点

鐘

佐藤会長

・ロータリーソング

「それでこそロータリー」



石井新会員 認証式 会長よりバッチの贈呈



ソングリーダー 長倉 巨樹彦会員



スポンサー前田会員より石井新会員の紹介

・お客様と来訪ロータリアンの紹介

北海道釧路鶴野支援学校 校長 小原 雅浩様  
北海道釧路鶴野支援学校 教頭 大塚 雅彦様  
ハウスペイント菊池 代表取締役 菊池 祐司様  
釧路北 RAC 斉藤 慎也会長  
釧路北 RAC 南部 智美副会長  
釧路北 RAC 中島 裕幹事



石井新会員の挨拶



本日のお客様 北海道釧路鶴野支援学校  
(左) 小原 雅浩校長 (右) 大塚 雅彦教頭



来訪ロータリアン 釧路北RACより  
 (中央) 齊藤 慎也会長 (右) 南部 智美副会長  
 (左) 中島 裕幹事

ると現在の規定ではこの先献血ができないとのことで残念です。私自身過去の献血は古くは手帳から今は献血カードになり、献血した回数が記録されております。献血しますと自分のかなりな検査数値を知ることができます。私自身この先5年間経過を見なければいけない為、残り4年間定期検査が必要です。皆様も何かの機会がありましたら定期検診をお勧めします。9月10月と食欲の秋、スポーツの秋、旅行や読書を楽しむ見聞の秋と良い季節になりますが、季節の変わり目寒暖の差が大きくなります。皆様にはぜひ健康に留意され良い季節をお過ごしください。

## ・入会記念祝



入会記念 亀井会員 (先週分)

## ・会長挨拶



先週9日の移動献血例会参加会員の皆様、お疲れ様でした。私自身、昨年5月19日大腸がん除去手術のため、労災病院にちょうど1か月入院しました。手術の際400mlの輸血を受け、他の方の輸血を受け

## ・幹事報告



- \* 9月のロータリーレートは102円となります。
- \* 公益財団法人米山梅吉記念館より、秋季例祭のご案内と賛助会入会のお願いが届いております。
- \* RI 第2500地区2015-2016年度ガバナー東堂明様より会員増強・拡大賞の表彰を受けております。
- \* 釧路交響楽団「協力会」会長 吉田敦子様より、引き続きの会員継続並びに会費納入のお願いが届いております。
- \* フィリピン育英会バギオ基金より広報が届いております。
- \* 釧路北RC、東RC、西RC、ベイRC、根室RCより9月プログラムのご案内が届いております。
- \* 豊富ロータリークラブ様より、創立50周年記念式典のご案内が届いております。
- \* 釧路北ローターアクト様より、再度地区協議会のご案内が届いております。最終期日が来週23日に迫っておりますので、来週早々に取りまとめて登録したいと考えております。

・委員会報告

出席委員会

会員 26 名 18 名出席 出席率 69%

・本日のプログラム

「 ゲスト講話 」

担当 ロータリー情報委員会



ゲスト講話 小原校長談話

### 釧路鶴野支援学校の沿革

平成25年10月1日	創設準備校準備事務局（創設準備校内）開設 創設準備校に開校準備事務局を設置し、創設準備校の校長 文口 明、事務長 高橋進也が兼務命令される。 専任1名（教育職2名、行政職2名）が専務命令される。
10月11、12日	「創設校に新設する特別支援学校」の説明会を実施
平成26年4月1日	北海道釧路鶴野支援学校開校
4月15日	第1回入学式、始業式 （幼稚園4名、小学部5名、高等部19名 計28名）
6月14日	開校式を開催
8月～10月	駐車場、グラウンド・庭外遊戯場 完成
平成27年4月1日	生活技術科新設（高等部3学科5学級）
4月8日	第2回入学式、始業式 （幼稚園1名、小学部1名、中学部1名、高等部23名 計26名）
平成28年4月8日	第3回入学式、始業式 （小学部3名、高等部20名 計23名入学） （中学部1名転入）
4月9日	釧路鶴野支援学校後援会設立

### 学校の特徴

- ・聴覚障がい教育（幼稚園、小学部、中学部）と知的障がい教育（職業学科を設ける高等部）を行う、道内で唯一の特別支援学校である。
- ・聴覚障がい教育部門は幼稚園、小学部、中学部における教育の他に、聴覚障害児幼児療育事業を実施し、英語・視察・エホーツク管内（一部）の聴覚障がい教育のセンター的機能を担う。
- ・知的障がい教育部門は、平成26年度道東地区で初めて設置された「通商・流通サポート科」と「福祉ケアビジネス科」に加えて、平成27年度より新たに「生活技術科」を設置し、歴史と伝統ある釧路で自立し、主体的に社会参加する人材の育成を目指す。

《資料》

## 北海道釧路鶴野支援学校

平成 28 年度

# 学校要覧

**Kushiro-Tsuruno Special Support School**

〒084-0924 釧路市鶴野58番92  
TEL 0154-57-9011  
FAX 0154-57-3390  
E-mail tsurunoshien-s0@hokkaido-c.ed.jp  
URL http://www.tsurunoshien.hokkaido-c.ed.jp

### 本校の教育目標等

#### 校訓

全力 前進 笑顔

#### 学校教育目標

自立をめざして、明るく、元気に、努力し続ける人を育てる

#### 学校経営の基本理念

個別の教育支援計画に基づき、一人一人の子どものよさを伸ばすための指導の最適化の探求を通して、自己有用性と向上心をもって学習に取り組み、努力し続ける姿勢を育てる。  
聴覚障がいのある幼児児童生徒（幼稚園・小学部・中学部）と知的障がいのある生徒（高等部）が在籍する学校として、相互の障がいへの理解を深め、支え合う存在としての意識を醸成する。

#### 重点教育目標

- 目標や希望に向かって、自分の力を最大限発揮して物事に取り組む力を培う。
- 自己有用感を基盤として、主体的に学習に取り組む姿勢を育てる。
- 交流を大切にし、相手を思いやる気持ちをもって仲間と協力する意識を育てる。

#### 経営方針

- 子どもたちが地域社会で自立し社会参加することを目的に、家庭や地域、関係機関との連携を深め、家庭や地域社会と共に幼児児童生徒を育てていくことを基本姿勢として教育活動を展開する。
- 幼稚園、小学部、中学部、高等部が設置された複数の障がいに対応する学校としての特色を生かし、幼児児童生徒がお互いの理解を深め、尊重し合う態度を高めることができるよう、創造的な教育活動を展開する。
- 聴覚障がいのある幼児児童生徒に対して、個別の教育支援計画に基づき、幼稚園から中学部まで一貫性のある教育課程の下に、「生きる力」を育成するために、幼児児童生徒一人一人に合わせた指導や支援の充実を図る。
- 知的障がいのある生徒に対して、自分自身の個性や特徴の理解を促すとともに、社会自立に必要な基礎的・基本的な能力を高め、働く力を育成するための指導や支援の充実を図るとともに、卒業後を視野した生徒一人一人に合わせた進路指導の充実を図る。
- 聴覚障がいに関する専門性や強み・強みを活用し、地域の幼児児童生徒に対して支援を行うとともに、関係機関と連携し、多様な教育ニーズに対応する体制の一部の整備に努める。聴覚障害児幼児療育事業において、センター的機能のさらなる充実に従って、関係機関や保健指導、療育担当者との連携を深め、聴覚障がいのある子どもの早期発見・早期療育に努めるとともに、年少児を対象としたグループ活動も充実させる。
- 知的障がいの後継中等教育機関としての専門性を高め、就労支援に際して福祉等の関係機関との連携を深めるとともに、教育相談等による小・中学校の進路指導等に関する支援や、高等学校の生徒対応等に関する支援を中心にセンター的機能を充実させる。

